選挙に関心は64・9％

「向日市民の選挙に関する意識調査」について

向日市選挙管理委員会は市明るい選挙推進協議会と共同で実施した「市民の選挙に関する意識調査」の結果をまとめました。

この調査は今年2月に実施したもので、昨年12月18日に行われた衆議院議員総選挙での市の投票率が、府下10市（京都市を除く）の中で59・28％と最も低かったため、有権者の投票行動や選挙に対する意識の実態をは握して今後の啓発活動に役立てようというものです。

調査は、市内の有権者から2千人を無作為抽出し、アンケート形式によるもので、回収率は49・3％。最高が60歳以上の女性（57・8％）で最低が30歳代の男性（36・6％）でした。

調査結果では、「選挙に関心をお持ちですか」の質問に、「持っている」64・9％「少しは持っている」30・8％「持っていない」4・3％となっています。

年代・性・居住年数別の調査では、60歳代以上の男性で向日市民となって20年以上居住している人の90％近くが関心を持っており、反対に20歳代の女性で居住年数10年以上の人では「持っていない」と答えた人が20％代でした。

「衆議院総選挙に投票されましたか」の質問には、「投票した」が78・5％で投票理由は「政治を良くするためには、投票することが大事だから」が68・5％と最高で、「どうしても当選させたい候補者がいたから」が12・1％と意外に少なかった。

一方投票しなかった理由は「用事があったから」が41・2％と最高で、次に、「政策や候補者の人物についてよくわからなかった」が15・8％、「選挙によって政治はよくならないと思った」が14・4％となっています。

その他、選挙に関しての意見としては、年代・性別を通じて「選挙カーの音量が大きく制限してほしい」が圧倒的で、次いで「立会演説会廃止によって選挙ムードが低調になった」「電話での投票依頼は迷惑」などとなっています。

なお、選管、推協に対する意見は、広報紙（選挙特集号）をもっとわかりやすくすることや、啓発車の増車、投票所内の雰囲気を良くすること、不在者投票所の整備などでした。

※今回の「意識調査」の冊子をご希望の方は、市選管にお越しください。先着100名まで無料でお渡しします。

ご利用ください 児童手当制度

▼**受給資格**

(1)18歳未満の児童を3人以上養育し、そのうちの1人以上が義務教育終了前の児童であること　(2)前年の収入が所得限度額（表Ⅰ）に満たないこと。

※昭和60年5月まで、所得制限のため児童手当が受けられない被用者（厚生年金に加入している人など）について、前年の収入が一定の額（表Ⅱ）に満たないときは、特例給付が支給されます。

▼**児童手当の額**

児童手当の額は、3人目以降の児童1人につき、月額5000円です。ただし市民税所得割の額がない受給者には、月額7000円が支給されます。なお、特例給付の額は、児童手当と同じです。

▼**現況届**

現在すでに児童手当を受給している方は、6月1日から20日までの間に、現況届を提出してください。この届は、受給者の前年の所得状況と養育状況を確認するためのものです。この届を出さないと、引き続いて受給資格があっても、6月分以後の児童手当の支払いを受けることができなくなりますので、必ず提出してください。

▼**児童手当の支払い**

児童手当は、毎年2月、6月、10月の3回に分けてそれぞれの月の前月までの4か月分をまとめて支払います。なお、6月期分（2～5月分）は、6月11日に口座振り込みします。

▼**申請・お問い合わせ**

児童家庭課　内線　344

〔表Ⅰ〕児童手当所得制限

扶養人数	所得(万円)	収入(万円)
0	125.8	201.2
1	155.8	244.2
2	185.8	287.0
3	215.8	326.0
4	245.8	363.5
5	275.8	401.0

〔表Ⅱ〕特例給付所得制限

扶養人数	所得(万円)	収入(万円)
0	269	392.5
1	299	430.0
2	329	467.5
3	359	505.0
4	389	542.5
5	419	580.0

※前年度の所得から、社会保険料（8万円）・医療費控除した額が対象

ゴミ焼却施設を新設

乙訓2市1町からでるゴミは乙訓環境衛生組合で処理していますが、このほどゴミ焼却施設と粗大ゴミ処理施設が完成しました。総工費は15億6300万円で24時間で80トンのゴミを焼却し、5時間で50トンの粗大ゴミを処理することができます。

なお、この施設はみなさんが納められている年金の還元融資資金を一部借りて建設されたものです。

あなたの健康をチェック

胃ガン・乳ガン・子宮ガン検診を実施

40歳は身体の節目といわれ、このころから身体の異常を感じることが目立ってきます。またこの年代は社会の担い手として活躍中、少しの身体の異常を感じても〝年のせいだろう〟と安易に考えてしまうことも往々にしてあります。成人病といわれるガン・高血圧・糖尿病などは、ほとんど自覚することなく発病し、しかも慢性の経過をたどって病状がすすむのが特徴です。この機会にガン検診をうけて自分の健康をチェックしましょう。

胃ガン検診

■**申込受付**

▽**日時**　6月1日から定員に達するまで　午前9時～正午・午後1時～4時

▽**場所**　健康管理課・保健センター

▽**対象**　妊婦を除く40歳以上の市民（職場等で検診が受けられる方は除く）

▽**定員**　300名

■**検診方法**

▽**日時**　7月9日（月）～13日（金）　午前中

▽**場所**　保健センター

▽**内容**　検診車によるレントゲン撮影

▽**費用**　無料

乳ガン検診

■**申込受付**

▽**日時**　6月1日　午前9時～正午　午後1時～4時

▽**場所**　健康管理課・保健センター

▽**対象者**　30歳以上の婦人

▽**検診方法**

▽**日時**　6月5日（火）・6日（水）の午後

▽**場所**　保健センター

▽**内容**　問診・視触診・必要な人のみ超音波断層撮影

▽**費用**　無料（超音波断層撮影者のみ千円自己負担）

子宮ガン検診

■**申込受付**

▽**日時**　6月1日　午前9時～正午　午後1時～4時

▽**場所**　健康管理課・保健センター

※郵送での申し込みも受付けます（氏名・生年月日・年齢・電話番号を記入し、60円切手と返信用封筒を同封のこと）

▽**対象**　30歳以上の婦人

■**検診方法**

▽**日時**　6月中の診察時間内

▽**場所**　京都市・京都府下の指定医療機関

▽**内容**　市発行の受診票にて個別受診

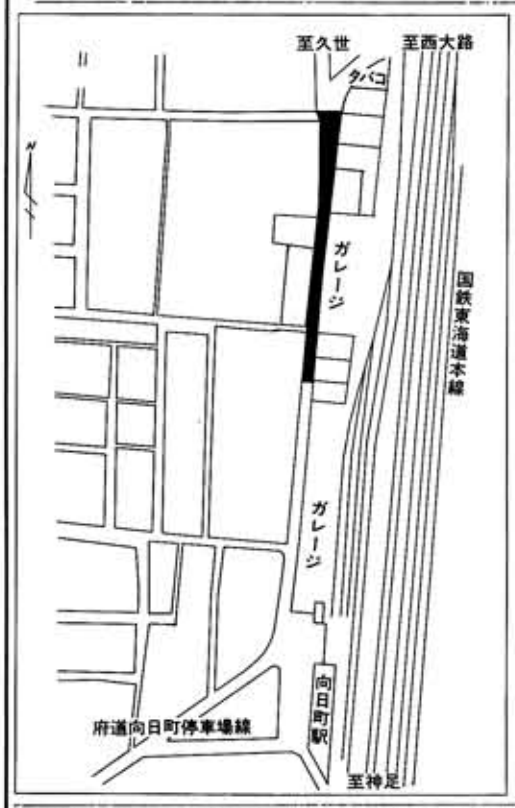
▽**費用**　500円（受診医療機関の窓口にて支払）

進む下水道事業

交通規制のお知らせ

市では住みよいまちづくりの一環として、公共下水道工事を進めていますが、今回寺戸町瓜生地区の一部において、6月初旬から10月下旬まで公共下水道管の敷設工事を行います。

この間、左図に示した道路は片側通行となります。工事期間中、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



毎日の暮らしの中で防犯チェックを

(1)玄関から小窓まで戸締まりを忘れないように

「ちょっとお隣りまで……」というときでも、必ず戸締まりをする習慣をつけましょう。

(2)2重・3重の戸締まりを

「カギさえかけておけば安心」と考えるのは禁物。主錠のほかに補助錠で二段構え（ワンドア・ツーロック）

(3)留守の家とわからないように

新聞や牛乳びんがたまっているのは留守の証明。何日も留守にする時は、お隣さんに頼んでおきましょう。

(4)カギを牛乳箱などに入れておかないように

出入口のカギは、自分で持って出るか、お隣さんにあずけるのが安全です。

(5)防犯ベルを取り付けよう

ドロボウは音が大嫌い。あき巣撃退にもっとも効果のあるのが≪防犯ベル≫です。

※市では、地域の防犯や防災のため各地区で共同営（原則として20戸以上）として防犯ベルを設置される場合、予算の範囲内で当該事業に要する費用の30％を補助します。

▶**申込み・お問い合わせ**　生活環境課　内線234

向日市文化資料館嘱託職員募集

▶資格　博物館学芸員資格取得者で向日市および乙訓地域の埋蔵文化財に精通されている方

▶募集人員　若干名

▶提出書類　(1)市販の履歴書　(2)健康診断書（国公立病院または保健所）　(3)学芸員資格証明書　(4)写真1枚、切手40円・60円各1枚

▶書類提出先　職員課

▶受付期間　昭和59年6月2日（土）～6月8日（金）（土曜日の午後・日曜日は除く）

※郵送・電話での受験申込み・手続は不可

▶試験日　6月中旬の予定

▶仕事の内容についてのお問い合わせ

教育委員会文化資料館　☎931－1181